

鳥取県教育委員会表彰を受賞

11月12日（木）、鳥取県立図書館で行われた表彰式において、前大山町人権・同和教育推進協議会会長の富長源十郎さん（富長中）と大山中学校長の林原範夫さん（末吉）が鳥取県教育委員会表彰を受賞されました。



富長源十郎さん
（富長中）



林原範夫さん
（末吉）

人権・同和教育 振興に貢献

富長さんは、昭和48年に鳥取県社会同和教育指導委員に就任以来、名和町同和教育推進協議会会長、大山町人権・同和教育推進協議会会長を歴任されるなど、36年の永きにわたり、県及び町の人権・同和教育の推進に尽力されました。また地域で

社会教育活動に長年取り組み、人権意識の高揚、充実に貢献されたことが評価されました。

学校教育の発展に貢献

林原さんは、中学校の体育科や部活動の指導を通して生徒の健全育成に尽力され、平成14年度からは校長として、特に中山中学校では給食において、いち早く地産地消に取り組み、平成16年度の文部科学大臣表彰（学校給食優良校）を受賞。平成20年度からは西伯郡中学校長会会長を務め、広く学校教育の発展に寄与された功績が認められました。

地域のスポーツ活動に貢献

長年にわたり地域のスポーツ振興に取り組んでいらして、大山町体育指導委員の陶山友文さん（佐摩）と佐山姿子さん（束積）が感謝状の贈呈並びに表彰を受けられました。



▲表彰状を手にする佐山さん

員協議会から感謝状が贈呈されました。また佐山さんは、10年間の体育指導委員活動が評価さ



▲感謝状の贈呈を受ける陶山さん

ながただいしんでんのに 長田大新田ノ二遺跡 現地説明会を開催！



▲説明会では様々な質問が飛び交いました。

大山町教育委員会では11月22日（日）午後1時30分から、長田大新田ノ二遺跡の現地説明会を開きました。当日はおよそ30人が参加し、興味深く調査員の説明に聞き入りました。今回は実際に竪穴住居跡に立ち入って、床面や柱穴等の遺構を観察していただいたこともあって、参加者から様々な質問が飛び交う盛況な説明会となりました。

【遺跡の概要】

長田大新田ノ二遺跡の発掘調査は、県営大淀地区畑地総合整備事業に伴い、高麗山のみもと、大山町長田字大新田ノ二地内80㎡を調査したものです。

調査の結果、わずかな調査面積のなかに弥生時代終末期から古墳時代前期にかけての竪穴住居を三棟確認し、それに伴う土器などの遺物を検出しました。そして調査地周辺に集落が広がっていたことが分かりました。

当遺跡の北西約500㎡には国史跡である妻木晩田遺跡が所在します。時期が重なることや、立地的なことなどから、長田大新田ノ二遺跡は妻木晩田遺跡と密接な関係にある集落であったと考えられます。

（社会教育課文化財調査班）